

日本 ASEAN 友好協力 50 周年記念認定事業
JENESYS 日本 ASEAN 高校生交流の記録
(招へい)

1. プログラム概要

【目的・概要】日本と ASEAN の友好協力 50 周年を契機とし、日本と ASEAN 諸国の若者に、両国の関係の重要性を喚起し、相互理解と友好の促進、今後 50 年後を見据えた日 ASEAN 間の信頼・協力の醸成を主目的として、本プログラムを実施しました。

このプログラムでは、「環境保全・エネルギー」「ものづくり・技術」「医療・福祉」「インターネット・教育」をテーマに、ASEAN 諸国^(注)及び東ティモールの選抜された高校生 88 名が、2023 年 7 月 25 日から 8 月 2 日にかけて来日し、4 つのグループに分かれて、東京都、青森県、埼玉県、愛知県、広島県を訪問し、講義や視察、専門家や日本の高校生との意見交換を行うとともに、大学訪問と留学説明、ホームステイや日本文化を体験しました。また、訪日団一行は、日本滞在中、訪問地での体験やプログラムを通じて得た学びについて、SNS を通じて母国の人々に紹介しました。

(注) インドネシア、カンボジア、シンガポール、タイ、フィリピン、ブルネイ、ベトナム、マレーシア、ミャンマー、ラオス (10 か国)

【参加者】ASEAN 諸国及び東ティモールの高校生及び引率者 88 名

(内訳) 各国 高校生 7 名、引率者 1 名

【訪問地・人数】

プレプログラム (オンライン事前学習) : 神奈川県 88 名

招へいプログラム : 東京都 88 名 (全グループ)

埼玉県、青森県 22 名 (グループ A「環境保全・エネルギー」)

愛知県 22 名 (グループ B「ものづくり・技術」)

広島県 22 名 (グループ C「医療・福祉」)

栃木県 22 名 (グループ D「インターネット・教育」)

【日程】

■ プレプログラム :

7 月 14 日 (金曜日) 【来日前オリエンテーション】

【講義①】「日本の社会と文化」

講師 : JICE 日本理解講義講師 アンドラディ 久美 氏

【講義② (収録)】「日本と国連」

講師 : 外務省総合外交政策局国連政策課首席事務官 金戸 健太郎 氏

指定期間

【課題学習 (動画配信)】「ホームビジット体験」、「南三陸町からのメッセー

ジ」、「愛知の魅力～産業、最先端技術～」、「広島ピースツアー」、「日本語」

■ 招へいプログラム：

7月25日（火曜日） 成田/羽田国際空港より入国、【来日時オリエンテーション】

【講義・ワークショップ】

講義：「地域の環境課題と日本アセアンセンターの活動」

ワークショップ：

課題1. プラスチック汚染問題に対するあなたの国の持続可能な実践例を考える

課題2. 10万円で、学校や地域社会のプラスチック汚染に対処するプロジェクトを考える

日本ASEANセンター講師及びファシリテーター：

事務総長室広報担当官 宮内 智子 氏

調査・政策アドボカシーチーム・プログラスマネージャー カトリーナ
ナボーロ 氏

インターン オーロラ ティニーオ 氏

7月26日（水曜日）【日本文化視察】明治神宮、原宿（グループA、C）、浅草（グループB、D）

【テーマ別視察】

グループA：石坂産業株式会社（埼玉県入間郡）

グループB：パナソニックセンター東京（江東区）

グループC：オリンパス株式会社（オリンパスミュージアム、八王子市）

グループD：株式会社学研ホールディングス（品川区）

7月27日（木曜日）～ 7月30日（日曜日）グループ別地方訪問

（1）グループA「環境保全・エネルギー」：青森県八戸市・南部町

【視察】奥羽クリーンテクノロジー株式会社、

三沢市ソーラーシステムメンテナンス事業協同組合

【自治体表敬】南部町副町長 佐々木 俊昭 氏

【学校交流】私立八戸工業大学第一高等学校

【対面式・ホームステイ・歓送会】南部町、【日本文化体験】座禅（法光寺）

（2）グループB「ものづくり・技術」：愛知県豊田市

【視察】トヨタ産業技術記念館、大須商店街

【自治体表敬】豊田市副市長 安田 明弘 氏

【学校交流】愛知県立豊田西高等学校

【対面式・ホームステイ・歓送会】豊田市

【日本文化体験】うちわ作り（豊田市小原和紙の里）

（3）グループC「医療・福祉」：広島県広島市

【視察】広島市立広島市民病院

【平和学習】（視察）被爆関連場所視察、広島平和記念資料館、

（被爆関連講話）講師：広島市立大学国際学部 准教授 アリフ,ヌルハイザル・アザム氏

【対面式・ホームステイ・歓送会】広島市、【日本文化体験】書道

【ワークショップ】報告会準備（訪日成果のとりまとめ、SNS 発信状況等確認、アクション・プラン作成）

（４）グループD「インターネット・教育」：栃木県大田原市

【視察】オリオンIT 専門学校、オリオンコンピュータ株式会社、栃木県立博物館、
大田原市なす風土記の丘湯津上資料館、与一伝承館

【自治体表敬】栃木県生活文化スポーツ部部長 野原 恵美子 氏

【学校交流】宇都宮大学

【対面式・ホームステイ・歓送会】大田原市

7月31日（月曜日）

【学校交流】国立呉工業高等専門学校（グループC）

全グループ東京都へ移動。

【ワークショップ】報告会準備（訪日成果のとりまとめ、SNS 発信状況等確認、アクション・プラン作成）（グループA、B、D）

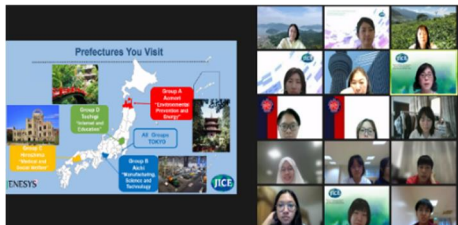
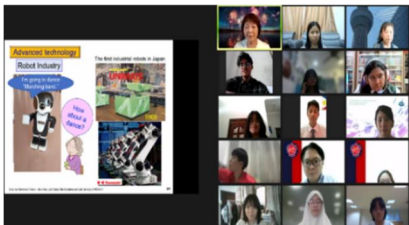
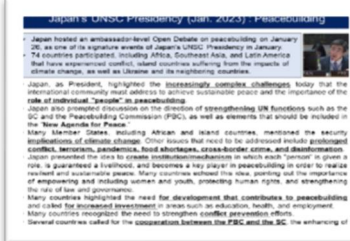
8月1日（火曜日）【大学訪問】国連大学（グループA、B）、東京大学（グループC、D）

【報告会】訪日成果・帰国後の活動計画発表

8月1日（火曜日）または2日（水曜日） 成田/羽田国際空港より出国

2. 記録写真

■ プレプログラム：

	
7月14日【来日前オリエンテーション】	7月14日【講義①】「日本の社会と文化」
	
7月14日【講義②（収録）】「日本と国連」	7月【課題学習（動画配信）】 「南三陸町からのメッセージ」

■ 招へいプログラム：

グループ A「環境保全・エネルギー」（訪問地：埼玉県、青森県）

	
7 月 26 日【視察】石坂産業株式会社	7 月 27 日【自治体表敬】南部町副町長
	
7 月 27 日【視察】 奥羽クリーンテクノロジー株式会社	7 月 28 日【視察】三沢市ソーラーシステムメン テナンス事業協組合
	
7 月 28 日【学校交流】 私立八戸工業大学第一高等学校	7 月 29 日【ホームステイ】南部町

グループ B「ものづくり・技術」（訪問地：東京都、愛知県）

	
7 月 26 日【視察】パナソニックセンター東京	7 月 27 日【日本文化体験】うちわ作り
	
7 月 28 日【学校交流】愛知県立豊田西高等学校	7 月 29 日【ホームステイ】豊田市

	
7月29日【自治体表敬】豊田市副市長	7月31日【ワークショップ】報告会準備
グループC「医療・福祉」（訪問地：東京都、広島県）	
	
7月26日【視察】オリンパスミュージアム	7月27日【視察】広島市立広島市民病院
	
7月28日【日本文化体験】書道	7月30日【平和学習】被爆関連場所視察
	
7月30日【平和学習】講話聴講	7月31日【学校交流】 国立呉工業高等専門学校
グループD「インターネット・教育」（訪問地：東京都、栃木県）	
	
7月26日【視察】 株式会社学研ホールディングス	7月27日【表敬】 栃木県生活文化スポーツ部部長

	
7月28日【視察】オリオンIT専門学校	7月28日【学校交流】宇都宮大学
	
7月28日【学校交流】宇都宮大学	7月29日【ホームステイ】
グループ共通/グループ別視察（訪問地：東京）	
	
7月25日【講義・ワークショップ】「地域の環境課題と日本アセアンセンターの活動」	
	
8月1日【大学訪問】 国連大学（グループA、B）	8月1日【大学訪問】 東京大学（グループC、D）
	
7月31日【ワークショップ】（グループC）	8月1日【報告会】

3. 参加者の感想（抜粋）

「環境保全・エネルギー」

- ◆ シンガポール 引率者：産業廃棄物のリサイクル工場の視察が強く印象に残っています。日本が廃棄物削減とリサイクルを重要視していることを学びました。

「ものづくり・技術」

- ◆ **ラオス 高校生**：一番印象に残ったプログラムは、間違いなくトヨタ産業技術記念館です。この経験は、日本の製造業と技術的側面の可能性を解明してくれました。とてもユニークで印象的で、心から尊敬の念を抱きました。

「医療・福祉」

- ◆ **シンガポール 引率者**：オリンパスミュージアムでは、ガイドの方がとてもフレンドリーで親切に案内してくださいました。医療機器（内視鏡検査）を実際に触れるのは楽しく、会社の歴史や創業者、従業員の精神にとっても感銘を受けました。広島市民病院訪問では、病院がどのように運営されているのかを直接見る機会になり、とても感謝しています。また、病院が複雑な業務を非常に効率的に処理していることに驚きました。日本は最先端の設備と技術で世界を牽引していて、インスピレーションを受けました。

「インターネット・教育」

- ◆ **カンボジア 高校生**：学研ホールディングスの訪問が、プログラムの中で最も印象的でした。学習キットや実験、本など、学習に非常に有益でありながら、生徒が勉強に飽きないように楽しいツールを充実させ、学校教育を魅力的にしていました。日本の教育システムが素晴らしく組織化され、計画的に実施されていることに感銘を受けました。

「学校交流・文化体験等」

- ◆ **フィリピン 高校生**：豊田西高等学校の訪問は、本当に素晴らしい経験でした。英語クラブの生徒たちは、時間を惜しまずに美しい校内を案内してくれました。校内に足を踏み入れた瞬間から、私たちは活気に満ちた雰囲気魅了され、その教育環境に自分たちも入りたいと思いました。学校生活や文化について様々な角度から話し合う機会がありました。彼らの日常生活、課外活動、成績、学校などについてのプレゼンテーションは素晴らしいものでした。今回の訪問は、教育的に有意義な経験であっただけでなく、日本と私たち（ASEAN）の学校との間につながりを育む機会にもなりました。私たちは意見交換をし、経験を分かち合い、互いの教育システムを深く理解することができました。豊田西高等学校の英語クラブの生徒たちの温かいもてなしに感謝します。
- ◆ **ラオス 高校生**：私が一番印象に残っているのは、ホームステイです。とても有意義な時間を過ごしました。ホストファミリーは自分の子供のように私に接してくれました。日本の伝統文化をたくさん教えてもらい、日本料理でおもてなしいただき、ホストファミリーから日本の文化についてたくさん学ぶことができました。

4. 受入れ側の感想（抜粋）

- ◆ **視察先企業関係者**：参加者の皆さんが工場見学や質疑応答を通して、参加者の皆さんが熱心にプログラムに取り組んでいる様子が伝わってきました。また、海外の学生たちがどのようなことに興味を持っているか、私たちもよく理解することができました。これからはその理解を活かして、より良い活動を展開していけると思います。
- ◆ **視察先企業関係者**：ASEAN 高校生の皆さんから「分かりやすい」「感動しました」という言葉をいただき、私も感激しました。高いレベルの質問がたくさん寄せられ、彼らは各国の未来を担う有望な若者なのだと感じました。英語力も非常に高く、大学生としても十分通用するレベル

です。まだ若いですが、日々努力を惜しまず、豊富で実用的な知識を積み重ね、自分の国や社会に貢献したいという意欲に感銘を受けました。私もその情熱を忘れず、これからも学生の皆さんと共に頑張っていきたいと思います。

- ◆ **視察先企業関係者：**参加者の皆さんは、私たちの話にとっても熱心に耳を傾けてくださり、弊社の歴史や事業の発展について理解を深めて頂く良い機会となりました。今回は医療をテーマにしたグループの訪問でしたが、高校生の皆さんが医療に限らず顕微鏡やカメラなど、幅広い分野に興味を示されていることがわかりました。
- ◆ **学校教員：**新型コロナウイルス感染症の影響で、直接国際交流をする機会がしばらくなかったため、生徒たちは最初とても緊張していました。しかし、訪日団の皆さんがフレンドリーだったので、すぐに打ち解けて交流することができました。双方の生徒たちが楽しそうに話していた様子が印象的で、心に残っています。
- ◆ **日本人学生**
 - 交流した国々は自然がとてもきれいで、日本では見られない森林や海の景色を見たいと思いました。写真を見せながら説明する時に英語が全く出てこなくて大変だったため、英語を話す練習も夏休み中にしようと思いました。
 - 交流した国に対して、どの都市もとても大きく、とてもきれいな都市ばかりだと思いました。日本と違う点がたくさん見え、いろいろな国の都市の文化や特徴を知ることができてよかったです。
- ◆ **ホストファミリー**
 - 初めての体験でしたが、学生たちとコミュニケーションが取れてとても良かったです。日本の文化を少しでもお伝え出来たかと思います。
 - 学生たちはとても明るくて、笑顔が素敵でした。スマホの翻訳機を使って積極的に話しかけてくれて良かったです。最高でした。このような機会を作ってください、ありがとうございました。

5. 参加者の対外発信（抜粋）、報道記事等

	
---	---

2023 年 7 月 27 日 (Facebook) 3 日目は、東京から広島まで新幹線に乗りました。広島到着後、広島で最も大きな病院のひとつである広島市民病院を視察しました。1952 年からの病院の歩み、高度急性期医療を提供する目的・目標、病院の歴史などについて学びました。また、放射線科、栄養科、臨床科、救急科など、病院内の多くの診療科を見学する機会があり、病院内の各診療科がどのように連携して患者を最善の方法でサポートしているのかを知ることができました。	2023 年 7 月 31 日 (Instagram) 広島平和記念資料館を訪れました。 原子爆弾には様々な物語があります。それは過去に起きたこと、平和について、(原爆後)その出来事の後に、(人々は)どう生きてきたか教えてくれます。訪れることができたことをありがたく思います。ここには沢山の物語がありますから。
	
2023 年 7 月 29 日 (中日新聞 朝刊 豊田版) 『豊田西高生と交流深める』ASEAN 諸国などの生徒： 東南アジアの高校生たちが豊田西高校を訪れ、日本人学生と交流。それぞれの文化を英語で紹介し、国境を越えて一緒に驚き、笑い、語り合った。訪日学生からは「日本も自分の国もおじぎや合掌をしますが、深さや位置が違います」といった声があった。	2023 年 7 月 29 日 (下野新聞) 『対日理解へ企業見学』宇都宮で東南アジアの高校生「ネット・教育」テーマに： 「JENESYS2023」で来日中の東南アジアの高校生が、IT の教育事業を行うオリオンコンピュータ株式会社と同社の IT 専門学校を訪問し、技能実習生として来日する外国人向けの日本語授業を見学。技能実習生へ「なぜ日本で働こうと思ったのですか」などの質問があり、日本で働くことへの理解を深めた。

6. 報告会での訪日成果とアクション・プラン発表

グループ A (訪問地：東京都、埼玉県、青森県)

	WHAT (Are we going to do) • collect waste from households • waste includes plastics, paper etc. • exchange the waste for an incentive (maybe a crochet) • turn this recycled waste into a product • sell it back to the public • promote through social media	HOW ONLINE PLATFORM Youtube Channel  Podcast  Example Content: • Environmental Topic • What do we learn from JENESYS (separate into each content) • Invite a special guest • Separate into each country vlog Example Content: • Team members JENESYS experience 
---	--	--

【訪日中の学び】日本の公共交通の利便性に感動しました（主に電車を利用し、自転車や歩行者

が多く、交通渋滞が少ない)。また、時間厳守と礼儀正しさを重視しています。さらには高齢者の活躍、温泉の癒し、治安の良さに驚きました。紛失物の返還率が高く、緊急時のリスクマネジメントも学びました。

【環境保全、エネルギーの学び】石坂産業株式会社では環境保全とエネルギーに焦点を当て、廃棄物を再利用しています。「ゼロ・ウェイスト・デザイン」ビジョンを掲げ、廃棄物の98%を削減またはリサイクルし、環境にやさしい技術を駆使して分別・処理していることを学びました。

【アクション・プラン】以下2点、訪日で学んだ活動を自国でも展開できると考えています。

- ・家庭ごみ分別を促すため、家庭で分別したごみを報償物と交換するプロジェクトを実施します。
- ・リサイクル可能な廃棄物を商品化する活動をSNSで広めます。

グループB「ものづくり・技術」（訪問地：東京都、愛知県）



【訪日中の学び】日本社会の礼儀正しさ、時間厳守の重要性、清潔を心掛けている技術先進国でありながら、豊かな緑を維持し、持続可能な未来への取り組み、そして技術革新を通じて人々の生活の質を高め続けていることを学びました。

【ものづくり・技術の学び】新幹線に代表されるように、日本はものづくりと技術を通して発展と経済成長を遂げてきたことを学びました。企業視察では、革新的技術、環境重視、代替エネルギーの発明など、日本のものづくりの革命的要因は「カイゼン」の精神だと気づきました。

【アクション・プラン】グループ全員で、2023年10月までに、以下2点を実施します。

- ・日本・ASEAN・東ティモールの文化的な情報共有を行い、各国生徒の結びつきを促進します。
- ・若い世代で日本のものづくりを紹介するためのイノベーションを育む展示ブース用コンテンツ（オンライン）を作ります。

グループC「医療・福祉」（訪問地：東京都、広島県）



【訪日中の学び】日本技術の先進性を学びました。動物愛護に対する日本人の姿勢も印象的でした。環境への配慮も多様で、多くの人々が自転車を利用し、家庭でも太陽光発電を利用しています。また、日本人は親切で優しく、几帳面な性格で一緒にいて楽しい人たちでした。

【医療・福祉の学び】

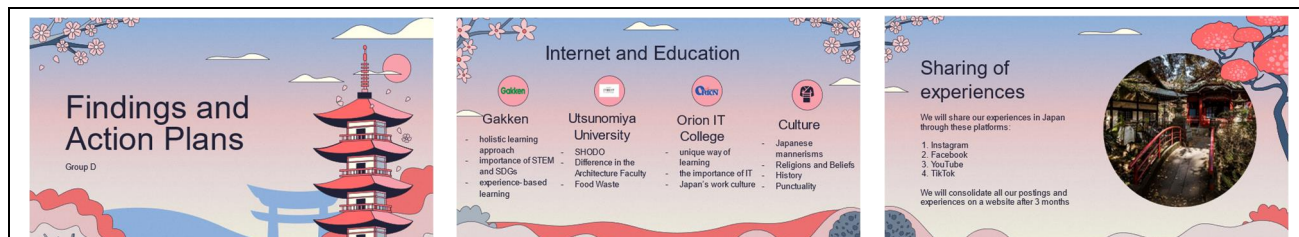
医療福祉：患者の負担を押さえつつ早期発見に貢献している技術や治療機器、自動的に適切な薬を選別するシステムなど、最新の医療機器開発について学びました。

社会福祉：日本は国民皆保険制度を持ち、低負担で医療を受けられるシステムが存在しています。

【平和学習の学び】被爆者の方々は過去に対する復讐や恨みを抱くことなく、前向きに歩み続けています。彼らの願いは世界に平和が広がることです。

【アクション・プラン】8月から11月にかけてグループメンバー全員と各国のボランティア学生で、プログラムで得た学びの情報提供と日本文化の普及と JENESYS プログラムへのつながり促進を目的に、Facebook、Instagram、YouTube のページを作成し、日本に関する情報を発信します。

グループD「インターネット・教育」(訪問地：東京都、栃木県)



【訪日中の学び】日本人の特徴、信じる宗教と信念、歴史について理解しました。特に時間厳守の大切さを学びました。

【インターネット・教育の学び】学研への訪問を通じて、SDGs を実現することの重要性を学びました。また体験型学習が印象的でした。宇都宮大学では、学生の素晴らしい書道パフォーマンスと研究内容の発表に感銘を受けました。オリオン IT 専門学校では、独特の日本語学習方法と IT 活用の利点や重要性を学ぶことができました。

【アクション・プラン】グループメンバー全員が、Instagram、Facebook、YouTube、TikTok に日本滞在中の経験やそこから得た学びについて、各国の一般の方を対象にした投稿を行います。そして3か月後、SNS の投稿と経験談等をウェブサイトを集約することで、各国の投稿の反応を参加者間同士で共有し、また JENESYS についての発信力をより高めます。

実施団体名：一般財団法人日本国際協力センター（JICE）